



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社ショクブン 上場取引所 東・名  
 コード番号 9969 URL http://www.shokubun.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 公  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 田野 光夫 (TEL)052(773)1011  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,582	△3.4	△11	—	△31	—	△35	—
22年3月期第1四半期	2,673	△2.7	56	—	39	—	15	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△3.21	—
22年3月期第1四半期	1.43	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	10,603	3,157	29.8	283.97
22年3月期	10,850	3,260	30.1	293.30

(参考)自己資本 23年3月期第1四半期 3,157百万円 22年3月期 3,260百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,388	3.7	79	644.4	33	—	5	—	0.47
通期	11,477	5.5	445	31.5	355	55.3	178	89.5	16.01

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 (社名) ( ) 除外 一社 (社名) ( )  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無

添付資料3ページ「2. その他の情報 (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご参照下さい。

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	11,856,669株	22年3月期	11,856,669株
23年3月期1Q	739,072株	22年3月期	738,665株
23年3月期1Q	11,117,699株	22年3月期1Q	11,121,781株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況の表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、お客様の健康を第一に考え、安全で安心のできる美味しい食材をお届けすることを経営の基本にして、販売促進活動に励んでおります。

わが国経済は、輸出を中心に一部景気の持ち直しが見られるようになりましたが、社会全体がそれを実感できず、いまだ個人消費の本格的な回復までには至っておりません。当社グループが属する小売業界におきましても、消費者の高付加価値商品への期待があると同時に低価格商品や節約への志向は一層強まり、業態の枠を超えて価格競争が激しくなることなどにより、当社グループの売上高も少なからずこの影響を受けました。このような厳しい状況下で、当社グループは生産体制の見直しや生産性の向上等の各種施策を継続して行ったこともあり、製造経費は前年同期に比べ4.8%の削減を達成しました。しかしながら、天候不順による野菜等の仕入価格の高騰の影響もあり、売上原価率は57.9%と前年同期に比べ1.0ポイント増加しました。

また、販売費及び一般管理費については、本年6月に新設した滋賀支社における初期費用等21百万円の計上があり、前年同期に比べ0.2%の増加になりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は25億82百万円（前年同四半期比96.6%）、経常損失は31百万円（前年同四半期は39百万円の経常利益）になりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額11百万円を特別損失として計上した結果、四半期純損失は35百万円（前年同四半期は15百万円の四半期純利益）になりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、前連結会計年度末に比べ建物及び構築物が66百万円増加しましたが、現金及び預金が4億16百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ2億47百万円減少の106億3百万円になりました。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ短期借入金が1億25百万円増加しましたが、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が2億20百万円および賞与引当金が76百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少の74億45百万円になりました。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が91百万円減少したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億3百万円減少の31億57百万円になりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社連結グループの連結業績予想については、平成22年5月10日に公表しました予想数値に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失は354千円増加し、税金等調整前四半期純損失は11,758千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は22,138千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,449,108	1,865,602
受取手形及び売掛金	21,446	21,929
原材料及び貯蔵品	115,797	98,447
繰延税金資産	97,744	87,208
その他	114,068	32,192
貸倒引当金	△122	△122
流動資産合計	1,798,043	2,105,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,672,502	1,606,035
土地	5,797,945	5,797,945
その他(純額)	264,125	250,530
有形固定資産合計	7,734,572	7,654,511
無形固定資産		
	55,914	57,624
投資その他の資産		
投資有価証券	283,976	301,506
繰延税金資産	59,888	54,901
その他	701,733	708,160
貸倒引当金	△31,075	△31,075
投資その他の資産合計	1,014,524	1,033,493
固定資産合計	8,805,011	8,745,629
資産合計	10,603,055	10,850,888
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	369,309	433,915
短期借入金	1,450,000	1,325,000
1年内返済予定の長期借入金	1,162,701	1,202,655
未払法人税等	17,551	109,382
賞与引当金	66,350	142,800
その他	899,544	729,575
流動負債合計	3,965,456	3,943,328
固定負債		
社債	370,000	387,000
長期借入金	2,943,091	3,124,125
退職給付引当金	1,188	546
資産除去債務	22,138	—
その他	144,100	134,960
固定負債合計	3,480,518	3,646,631
負債合計	7,445,974	7,589,960

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,616,944	1,616,944
利益剰余金	886,977	978,249
自己株式	△447,961	△447,720
株主資本合計	3,203,970	3,295,483
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△46,889	△34,554
評価・換算差額等合計	△46,889	△34,554
純資産合計	3,157,080	3,260,928
負債純資産合計	10,603,055	10,850,888

(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,673,263	2,582,842
売上原価	1,521,194	1,496,111
売上総利益	1,152,068	1,086,731
販売費及び一般管理費	1,096,063	1,098,348
営業利益又は営業損失(△)	56,005	△11,616
営業外収益		
受取利息	709	1,923
受取配当金	1,420	2,217
受取保険金	24	40
受取手数料	2,189	2,203
受取賃貸料	1,058	1,296
その他	347	534
営業外収益合計	5,749	8,215
営業外費用		
支払利息	20,959	27,453
その他	808	772
営業外費用合計	21,767	28,225
経常利益又は経常損失(△)	39,987	△31,626
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	11,909
特別利益合計	—	11,909
特別損失		
固定資産除却損	372	2,016
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11,404
特別損失合計	372	13,420
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39,615	△33,138
法人税、住民税及び事業税	11,036	9,733
法人税等調整額	12,639	△7,189
法人税等合計	23,676	2,543
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△35,681
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,938	△35,681

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報等は第1四半期決算短信における開示の必要性が 大きくないと考えられるため開示を省略しております。